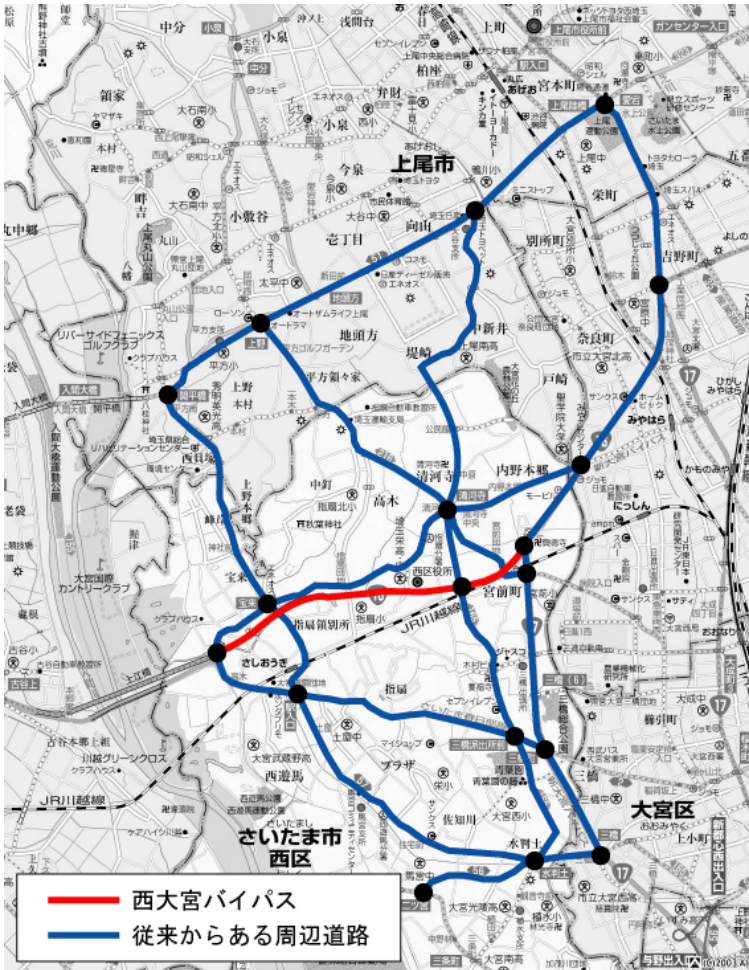


西大宮バイパスに伴うCO₂抑制効果等に関する試算

検討対象としたネットワーク



〈開通前後の交通状況等の変化※1〉

単位(千台/日)

交通量	開通前	開通後	変化量	変化率(%)
周辺道路	568	542	-26	-5%
西大宮バイパス	0	30	30	-
計	568	572	5	1%

単位(千台キロ/日)

走行台キロ	開通前	開通後	変化量	変化率(%)
周辺道路	1,150	1,062	-88	-8%
西大宮バイパス	0	112	112	-
計	1,150	1,174	24	2%

単位(km/h)

走行速度	開通前	開通後	変化量	変化率(%)
平均走行速度※2	25	31	6	24%

※1 (開通後-開通前)の値
 ※2 全区間の走行速度は、走行台キロでの重み付き平均で算出

自動車交通の変化に起因するCO₂排出量の増減

西大宮バイパスの整備により、周辺区間の交通量は若干増加(各区間の断面交通量合計で約1%、走行台キロで2%増加)。一方、走行速度の向上により、結果的にCO₂排出量は13,600t-CO₂/年(10%)低減された。

